

# 2016 岩手国体

第8日

17競技を岩手県内で行った。異県は、陸上成年男子5000m障害で岸本 直幸(大分)と山本寛寛(八戸大)と女子スクラッチの清水知美(八戸学院大)がともに8位入賞。ボートの少年男子シングルス3年ぶりの優勝。少子向の木野田沙耶子(青森高出)と早大はそれぞれ決勝に進んだ。ボウシング少年男子ライトフライ級の坂本達也(青森山田)はベスト4入り6位入賞した。ボウシングは、大会第9日の9日は18競技を行った。

本紙取材班

## トラックで初入賞

少年男子ポイントレース決勝の山本(八戸大)は8位となり、トラック競技で自身初の全国大会入賞を果たした。

3回目のポイント周回を前に、2番手の好位置につけると「意地でもポイントを取る」と強くペダルを踏み込み1周通過で5点を取るなど、10回目のポイント周回でもしぶとく3番に入り加点した。

高校で自転車競技を始め、1年時は「全国大会で入賞なんて夢のまた夢だった」というがその後、筋力を強化。腕力がつき、空気抵抗の少ない低い乗車姿勢を習得すると全国大会で入賞争いに絡むまでに成長した。

トラックとロードの両競技で全国大会入賞を目標に掲げた今シーズンのロード競技は6月の全日本学生選手権などで入賞。高校最後のトラック競技出場となったこの日のレースで目標を達成し「3年間の集大成を見せられた」と胸を張った。

## 落車も入賞「奇跡」

「入賞できるなんて自分でもびっくり。奇跡です」。落車しながらもレースに復帰し、入賞圏内の8位に食い込んだ女子スクラッチの清水(八戸学院大)は声を弾ませた。

30周する決勝。残り10周を切ったところで前の選手の転倒に巻き込まれ落車した。それでも「運よくかすり傷で済んだ。レースに戻る」と、自分が勝てるのはこの形と自信を持って最後のスプリント勝負で順位を上げた。

元スピードスケート日本代表の38歳。2014年に同大に社会人入学し、自転車競技を始めた。得意な短距離種目で全日本学生選手権優勝などの実績はあるが、今大会で長距離種目のスクラッチでも全国で戦える力があることを示した。練習で男子学生と長距離走を重ね、「速いペースで走るのに慣れたことが結果につながった」と笑顔で語った。

## 少年男子ポイントレース 山本(八戸大) 8位 清水(八学大) 女子スクラッチ

【少年男子ポイントレース決勝】8位入賞を果たした山本(八戸大)。

【自転車女子スクラッチ決勝】落車しながらも8位入賞した清水(八戸学院大)。

## 齋藤敗れ悔しい

○レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝で敗退した齋藤(八学光星)は「1ポイント差だったので悔しい。間合いを取ってなかなか攻めこない相手を前に、組み手から体勢を崩してタックルに入る得意の攻め方に持ち込めなかった」。

○レスリング少年男子小川 準々で敗退

齋藤敗れ悔しい

○レスリング少年男子小川 準々で敗退

## 齋藤敗れ悔しい

○レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝で敗退した齋藤(八学光星)は「1ポイント差だったので悔しい。間合いを取ってなかなか攻めこない相手を前に、組み手から体勢を崩してタックルに入る得意の攻め方に持ち込めなかった」。

○レスリング少年男子小川 準々で敗退

## レスリング

【レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝】群馬の日比野竜に8-9で敗れた齋藤(八学光星)＝宮古市民総合体育館

【レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝】群馬の日比野竜に8-9で敗れた齋藤(八学光星)＝宮古市民総合体育館

## レスリング

【レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝】群馬の日比野竜に8-9で敗れた齋藤(八学光星)＝宮古市民総合体育館

【レスリング少年男子小川 準々で敗退】

## レスリング

【レスリング少年男子フリースタイル50kg級準々決勝】群馬の日比野竜に8-9で敗れた齋藤(八学光星)＝宮古市民総合体育館

【レスリング少年男子小川 準々で敗退】